

文部科学省「AI等の活用を推進する研究データエコシステム構築事業」
ユースケース創出課題「マルチスピーシーズ霊長類脳画像の知識型データ共有エコシステム
の構築:データ駆動型脳科学を推進する共創型国際研究基盤」

データ駆動型脳科学の共創:

脳イメージング研究のための
オンライン対話型オープンセミナー(全6回)

オープンサイエンス時代の

脳イメージング研究

Vol. 6 RDM:研究データ管理・共有と利活用

令和6年

講師

込山 悠介

国立情報学研究所コンテンツ科学研究系准教授

博士(農学)。2014年3月、東京大学大学院農学生命科学研究科博士課程を修了、在学中は日本学術振興会特別研究員(DC2)でバイオインフォマティクス研究に従事。2014年4月、東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター特任研究員でスパコン運用に従事。2016年4月より国立情報学研究所コンテンツ科学研究系・助教。2017年4月より国立情報学研究所オープンサイエンス基盤研究センターの発足に伴い、研究データ管理サービスGakuNin RDMの研究開発、運営および国際連携に従事。2021年4月より現職、2021年10月よりオープンサイエンス基盤研究センター副センター長。



3.26 火
18:00 - 19:00

座長 酒井 朋子 (慶應義塾大学医学部生理学教室)、岡田 知久 (京都大学大学院医学研究科・脳機能総合研究センター)

現代の科学技術の進歩を概観すると、社会的な挑戦への対処は、異なる専門分野や国境を越えた「共創」によって進められています。オープンサイエンスとデータ駆動科学の発展は、既存の枠組みを超えて、新たな科学的地平と社会的変容を推し進めています。

本セミナーは脳イメージング研究のデータ駆動型アプローチに光を当て、脳科学の洗練された知識創出の旅路を描きます。ジョンズ・ホプキンス大学の太石健一教授を迎え、ヒトと非ヒト霊長類の最先端の脳画像撮像技術、計算解剖学的手法、AIを活用した脳画像解析技術、自動脳画像セグメンテーション技術、オントロジー技術を駆使した知識型脳画像データベース構築に至るまでの豊かな知識を、参加者との対話を通じて探求します。これにより、脳科学における新しい理解と発見へと導く、知的探究の場を提供することを目的としています。

参加費無料
登録URL

<https://forms.gle/7LM1RCq6ac9W9s3DA>

Zoom 情報等については、別途ご案内いたします。当日17時前までにご登録ください。

お問合せ先 info@primatebrain.jp



登録QRコード

なお、このフォームにより収集した情報は、本セミナーの実施に関わるご連絡のみ使用します。他の用途では一切使用致しません。

全6部(隔週土曜日)で開催予定

- 1月27日 1部: Atlas: 種類と意義
- 2月10日 2部: Database: 作成と利用
- 2月24日 3部: Prediction: 発達と変性
- 3月9日 4部: Ex vivo: 観察と計測
- 3月23日 5部: 7T: 組織と生体
- 3月26日 6部: RDM: 研究データ管理・共有と利活用